山田議員

雪害対策と総合的な雪対策について

問 市街地の積雪が2メートルを超え18豪雪よりも被害が多かった。

①地域防災計画の規定で市長を責任者とする雪害対策「本部」を設置すべきだった。なぜ副市長が責任者の雪害対策「室」しか設置しなかったのか。

②雪下ろし支援事業は、自己負担が払えず低所得者が利用できない。事故防止のために制度の見直しをすべき。

答 ①今回は総合的に判断した結果、本部設置には至っていない。

②利用しやすい制度となるよう、近年の雪下ろし作業の経費等を考慮すると共に、助成額や助成方法等について全庁的な協議の中で検討していく。

平成23年度予算案について

問 ①住宅リフォーム助成は、林業振興や環境保全のために県産材の利用も補助対象にすべき。

②集落間の街路灯は7年もかけず来年度にすべて設置すべき。既設の集落間の電気料金も地元負担を廃止すべき。

その他の質問
- 勝山市に大きな影響を及ぼす政府方針への対応について
- 第5次勝山市総合計画について
- 社会資本総合整備計画などの策定について
- 上下水道会計の運営について

答 ①この制度は窓の断熱改修等を実施した場合や県産材を活用して住宅のリフォームをした場合、国のエコポイントと県の補助金のほかに、補助対象とならない工事費についても20万円を限度に市独自の助成金を上乗せして消費の拡大がさらに進むような制度としている。

②主権者は市民なので市民の言うことはきっちり聞く。しかしそれには合意が必要。議会もきちんと詰めて合意していただければそのとおりやる。

北川議員

支えあう地域社会づくりについて

問 一人ひとりの安全・安心のため、高齢者や弱い立場の人を孤立させない支えあう地域社会の構築を願い、3点について伺う。

①民生委員の活動しやすい環境整備の取り組みについて

②地域包括支援センターの人員体制の見直しや広報活動の強化について

③ボランティア活動のポイント制の導入の考えはないか

答 ①過重な負担がかかっている民生委員の業務を支える仕組み作りについて、市で支援できる部分は積極的に支援していきたい。

②人員体制については、現体制でおおむね事業の遂行ができると判断している。広報活動については各地区のふれあいサロンや介護予防教室等で、多くの方に周知したい。

③関係機関等と協議しながら検討していきたい。

がん対策について

問 「がん対策基本計画」では、2011年度までに、受診率50％以上という大きな目標を掲げている。いよいよ2011年度に入る。そこで3点について伺う。

①受診率50％を目指したさらなる取り組みについて

②若い人の受診率を上げるため、「ヤングデー」を設けてはどうか

③新たに前立腺がんの検診無料化の考えはないか

その他の質問
- 空き家対策について
- 「生きる力」を育む教育について

答 ①地域や職域の協力を得ながら、さらなる受診率の向上に努めていきたい。

②今後検討していく。

③国が推奨する時期が到来した時にその導入を検討したい。